

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.9 >

～各学校の実践紹介～

優れた成果のあった学校を年度末に選定し、「グッドプラクティス」として顕彰します。

勝浦市立勝浦中学校



パラリンピアン
かんの かずひこ
官野一彦さん
による講演



大原高校生による
共生社会の授業

外部人材を活用した体験的な学び

- 3年生が、道徳の教材を通して、全盲の美術鑑賞家について学習し、その後実際にパラアスリートと交流
- 県立大原高等学校の福祉コースの生徒を講師に迎え、障害がある方との関わり方を学び、「共生社会」についての授業

[生徒の感想]

- ・高校生が工夫してくれ、いろいろな体験を楽しく行うことができた。
- ・より良い社会をつくるため、人の立場や気持ちを考え、自分から行動できる人になりたいと思った。
- ・お互いを知り、いろいろな人の目線になって考えることができると、みんなが生きやすい世の中になると思った。

パラスポーツ等を通じた交流

- 自分とは異なる他者とコミュニケーションを取る力を養い、障害のある方への理解を深めるために、1年を通して県立印旛特別支援学校の小学部とパラスポーツやダンスなどで交流
- 順天堂大学の先生や学生からボッチャ、ゴールボール、シッティングバレーなどさまざまなパラスポーツの指導

[児童の感想]

- ・特別支援学校の人と一緒に遊ぶのは、はじめは緊張したけど、いろいろな人と遊ぶことができずごく楽しい。
- ・座ってバレーボールをすることに驚きました。どんな人でもみんなのできるのですごくいいと思った。

印西市立平賀小学校

心のバリアフリー教育地域拠点校



印旛特支との
昼休み交流



順天堂大学の方
からパラスポ
ーツを教わる様子

「グッドプラクティス」の顕彰とは

心のバリアフリー教育の取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「グッドプラクティス」として県教育委員会教育長が顕彰し、賞状および記念品を授与します。

ご応募をお待ちしています。

※令和4年5月12日付け教政第74号【心のバリアフリー教育グッドプラクティスへの応募について（依頼）】参照

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4177